

## 環境・農水常任委員会 県内行政調査

1 調査日 平成25年1月21日(月)

### 2 調査の概要

#### (1) 滋賀食肉センター(近江八幡市)

滋賀食肉センターは、消費者に対する安心・安全な食肉の安定供給、畜産の振興と発展、衛生管理・品質管理の行き届いた施設を整備し、付加価値の高い食肉の流通を促進することを目的に、平成19年4月より操業を開始している。施設整備は財団法人滋賀県食肉公社、業務運営は株式会社滋賀食肉市場が担うという公設民営による方式で経営が行われている。

同センターは、滋賀県特産の「近江牛」の産地食肉センターとして、高品質、安全、安心な食肉を生産するため、HACCP(危害分析・重要管理点)方式による衛生管理を推進するとともに、香港等に対する輸出施設の認定取得を進めるとともに、海外向けをはじめ、マーケットが求める多様な食肉の流通形態に対応するため、冷凍施設を整備した。しかし、牛、豚のと畜頭数は操業当初の計画を下回る傾向にあることから、平成23年2月に第二次経営健全化計画を策定し、ランニングコストの削減等、経営改善に努められている。また、今年度、未利用地などを有効活用することを目的に太陽光発電施設の設置および運営管理を行う事業者を公募・選定し、基本協定を締結した(平成25年11月の売電開始予定)。



このことから、同センターの施設概要や海外等流通促進、経営改善の取組などについて現状と課題を調査した。

#### (2) 醒井養鱒場(米原市)

醒井養鱒場は、明治11年に琵琶湖特産のビワマスを増殖させることを目的として、県営ふ化場として開設されたのが始まりで、現在は、琵琶湖の特産種であるビワマスやイワナ・アマゴなど由来マス類の特色ある滋賀の内水面漁業・養殖業の活性化のための調査研究を行うとともに、水産増養殖業の振興と河川におけるマス類の資源維持を図るための種卵種苗の生産や養殖場、河川漁業協同組合に養殖技術や放流技術等の普及指導を行って

る。

また、小中学生を対象にした「親子さかな教室」や地域の小学生を対象にした「採卵教室」を開催するなど、魚や養鱒事業に対する知識の啓発普及に努めている。

なお、同養鱒場は、平成 25 年度から指定管理者制度を導入し、試験研究以外の業務を指定管理または指定管理者の自主事業として委ねることとしている。

このことから指定管理者制度導入に向けた取組状況および当施設の概要等を調査した。

